

深紫外線 UV-C の効果を実機で確認



- ◎試験実施機関: 日本微生物クリニック株式会社
◎検証装置: AC-15
◎検証ファージ※: Bacteriophage MS2 (紫外線への耐性が非常に高い)

	99.9%不活化に必要な紫外線照射量 (mJ/cm ²)
インフルエンザウイルス	6.6
ロタウイルス	24
バクテリオファージMS2ウイルス	42



必要な紫外線照射量を得るためには、十分な照射時間が必要です。アmanoの電気集塵式空気清浄機は、捕集したウイルスに紫外線をしっかりと照射します。

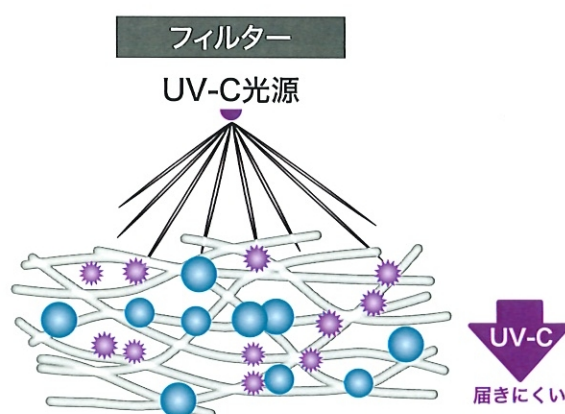
※UV-Cの照射試験は実際の製品を使用して効果を実証。 ※サンプルは製品内で最も殺菌灯から離れた位置から採取。

電極の構造や深紫外線UV-Cランプの位置、出力を最適化し、運転を停止後に30分間深紫外線をしっかりと照射します。そのため、UV-Cランプから最も離れた場所でも43.2mJ/cm²の深紫外線が届きます。

電気集塵は深紫外線 UV-C 効果に優れます



集塵電極表面のウイルスに対し深紫外線UV-Cを確実に照射できます



フィルター繊維の奥や陰にあるウイルスには深紫外線UV-Cは届きません

	AMANO	一般的なフィルター式
集塵方式	電気集塵+UV-C照射	HEPAフィルター+UV-C照射
捕集される場所	平板状の集塵電極表面に捕集される	フィルター繊維の表面や内部に捕集される
UV-C照射効率	◎ 集塵電極表面のウイルスに対し深紫外線UV-Cをくまなく照射できる	△ 繊維の奥や陰にあるウイルスには深紫外線UV-Cが届かない

